

科目名	視覚情報伝達論B				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2023年度 後期	単位数	2		
担当教員	北本 雅久				
内容および計画	情報伝達のツールとして印刷物は重要な役割を担ってきた。制作するデザイナーは文字や写真、イラストレーション、パターン（模様）などの視覚要素を駆使し、伝達性を高める表現を追求し続けている。授業では様々な印刷物（広告）の鑑賞を通して、視覚に訴える構成方法を考察する。さらに限られた視覚要素を用いた広告の制作を通し、視覚要素ごとの特性を理解しながら、情報伝達に効果的な表現方法を習得する。（内容および計画は変更の可能性あり）				
1	作品鑑賞 写真を活用した広告について 国内外の広告デザインの鑑賞を通し、効果的な表現方法を理解する				
2	作品鑑賞 イラストレーションを活用した広告について 国内外の広告デザインの鑑賞を通し、効果的な表現方法を理解する				
3	調査 写真・イラストレーションを活用した広告の実例調査、発表				
4	調査 写真・イラストレーションを活用した広告の実例調査、発表				
5	研究制作1 写真・イラストレーションを活用した表現 視覚要素の活用方法を習得				
6	研究制作1 写真・イラストレーションを活用した表現 視覚要素の活用方法を習得				
7	研究制作1 写真・イラストレーションを活用した表現 プレゼンテーション、講評				
8	作品鑑賞 文字を活用した広告について 国内外の広告デザインの鑑賞を通し、効果的な表現方法を理解する				
9	作品鑑賞 パターン（模様）を活用した広告について 国内外の広告デザインの鑑賞を通し、効果的な表現方法を理解する				
10	調査 文字・パターン（模様）を活用した広告の実例調査、発表				
11	調査 文字・パターン（模様）を活用した広告の実例調査、発表				
12	研究制作2 文字・パターン（模様）を活用した表現 視覚要素の活用方法を習得				
13	研究制作2 文字・パターン（模様）を活用した表現 視覚要素の活用方法を習得				
14	研究制作2 文字・パターン（模様）を活用した表現 視覚要素の活用方法を習得				
15	研究制作2 文字・パターン（模様）を活用した表現 プレゼンテーション、講評				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。					
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
調査内容の発表					20

課題 1	40
課題 2	40

課題提出は特に重視するので、授業時間内に終わらなかった課題は、授業時間外に作業を進める必要がある。

学習到達目標	(1) 視覚要素ごとの特性を理解する。 (2) 視覚要素を効果的に活用した表現ができる。
先修条件	デザインアプリケーションの基本的な操作方法を修得していると望ましい。
実務経験	実務経験あり：民間企業、大学附属美術館勤務から現在に至るまで、グラフィックデザイナーとして展覧会やアートイベントにおけるポスターなどの印刷物を数多く制作してきた。この経験をもとに印刷物の制作に必要な視覚要素の特性や表現手法を教授する。
その他	日頃から様々な印刷表現をよく観察すること。